

解体性接着技術研究会入会ご案内

平成16年5月吉日

各 位

設立趣意書

近年、廃棄物のリサイクルに対する関心が高まっております。それとともに、様々な製品分野に対応するリサイクル法が次々と制定・施行されていくなかで、これらを具現化するための多くのビジネスが生まれていることは、ご承知の通りであります。

昨今、接着剤は建築物や自動車・電機・機械器具を始めとして、あらゆる産業分野に取り入れられております。この接着剤を使用している製品を、廃棄物として分別処理の際に、あらかじめ容易に解体できるように接着を工夫する手法が、大変有効であるとの認識が生まれ、これを「解体性接着」とよんで様々な手法が報告されてきております。

このような現状にかんがみ、地球環境改善、資源有効利用の観点から、あらゆる産業分野における各種の接着・解体手法や接着剤等を整理研究して、その有効性を世に広めるため公に供したいと考え、ここに「解体性接着技術研究会」の設立をご提案申し上げます。幸いに、各界の皆様のご理解とご賛同が得られ、また、接着剤工業会の全面的なご協力のもと、事務局を置くことができました。皆様のご支援により、実りある研究会に発展することを祈念して、ここに入会のご案内を申し上げます。

記

研究会名 解体性接着技術研究会

主 旨 環境改善、資源有効利用の観点から、解体を前提とした各種の接着手法と安全な接着剤の整理研究を行い、規格標準化や社会への啓蒙を目的とします。

将来、NPO 法人化を目指したいと考えております。

研究内容 研究分野を下記のように大別して、会員を構成します。

- 1 . 建築・土木・建材・家具等の解体性接着技術に関する研究
- 2 . 自動車・機械・電機関連の解体性接手法の研究
- 3 . 環境配慮型解体性接着剤とその廃棄物処理に関する研究
- 4 . 一般的環境対応・リサイクル・産廃物解体処理等の研究

検討事項

1. 解体性接着の定義と条件および基準制定の提案
2. 解体性接着に関わる部材・機器・接着剤の試験法・基準・規格等の検討
3. 解体性接着の商品・施工の試験検査基準等の検討
4. 第三者への責任と保証基準の検討
5. 検定・認定基準の検討

参加資格 本研究会の主旨と研究内容にご理解と深い感心をもたれ、解体性接着に関する社会への啓蒙に積極的にご協力いただける「法人・個人・公共団体」

顧問 日本接着学会・建築学会・日本機械学会・電気学会等でご活躍の経験豊富な先生方をお招きして、逐次顧問を依頼いたします。

入会申込 別紙入会申込書に記入の上、事務局宛に email または FAX・郵便にてお送りください。なお、年会費は申込みと前後して下記のごとく払い込みをお願いします。

年会費(含入会金) 法人：2万円(4名程度を1単位とする)

個人：5千円

払い込み方法：下記銀行口座にお振込みをお願いします。

法人会員の場合は法人 会社などと分かるようにお願いします。

個人会員の場合は個人名をお願いします。振り込まれましたら、設立総会当日に会場で領収書(宛先はその場でお聞きします)を差し上げます。

なお、恐れ入りますが、振り込み費用はご負担願います。

振込先：東京三菱銀行神田支店

普通 2164341

名義 解体性接着技術研究会

初年度行事予定

設立総会、6月

研究会(幹事会)、9月、12月、3月

会報(インターネットメールおよびHPでお知らせします)、幹事会后速やかに掲載します。

発 足 平成16年6月29日

事務局 〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-15-10 福島ビル

日本接着剤工業会内 解体性接着技術研究会

以下、電話・FAXは当面接着剤工業会様を使わせていただきます。

TEL 03-3291-3303 FAX 03-3291-3066

e-mail: jaia@oak.ocn.ne.jp

設立準備委員会(幹事)

富田英雄(東京電機大学), 若林一民(ノガワケミカル), 竹内裕(日本接着剤工業会), 石井博之(構造接着委員会), 永田宏二(構造接着委員会), 秋本雅人(セメダイン), 松浦信輝(コニシボンド), 岩塚祐二(アイカ工業), 石川博之(松下電工), 西口隆公(ナガセケムテックス), 堀薫夫(化研テック), 芦田正(パーカーコーポレーション), 原賀康介(三菱電機), 山辺秀敏(住友金属鉱山), 佐藤千明(東工大), 松本章一(大阪市大), 岸肇(兵庫県立大学)その他大学関係者

発起人代表 〒350-0394 埼玉県比企郡鳩山町石坂

東京電機大学理工学部電子情報工学科

富田英雄 e-mail: tomita@f.dendai.ac.jp

設立総会のご案内

月日 平成16年6月29日(火)

場所 東京電機大学神田校舎11号館17階大会議室

(<http://www.dendai.ac.jp>で場所をご確認ください)

時間 午後2時15分~3時、設立総会、来賓挨拶等

午後3時~4時、基調講演(東京電機大学教授 宮入裕夫先生)

午後4時~4時45分、研究会指針レクチャー

(東京工業大学助教授 佐藤千明先生)

午後5時~6時30分、懇親会(同所)

懇親会にご出席の方は、年会費とは別に懇親会費3000円を当日いただきます。

なお、午後1時より同所にて幹事会が行われます。

解体性接着技術研究会殿

平成__年__月__日

解体性接着技術研究会入会申込書

私(法人)、_____は研究会の趣旨に賛同して、会の活動に積極的に参加いたしたく、入会を申し込みます。

氏名(または法人名) _____

連絡先(所属) 〒 _____

電 話 _____ FAX _____

e-mail : _____ (勤務先・自宅)

e-mail : _____ (勤務先・自宅)

勤務先名称・部署・役職等 :

私の興味ある研究分野を下記から番号で選ぶと : _____

建築工法 建設・土木工法 建材・家具・内装パネル等 自動車または
関連部品接着 機械または部品接着 電機または部品接着 一般
プラスチック・ゴム等接着品 解体性接着剤 産廃物解体処理等技術
一般的環境対応・リサイクル等

私(法人)は、__月__日ごろ、_____ (銀行・信用金庫・郵便局)から解体接着技術研究会宛に平成16年度会費_____円を振り込み(みました・む予定です)。

私は、6月29日の設立総会に出席(します。しません。)

私は、6月29日の総会後の懇親会に参加(します。しません。)

法人の場合は出席者名(_____)

以上